

ISO9001 認証取得

— はるな生協の現況 —

(2015年4月30日現在)

組合員数 22,061人
出資総額 406,973,200円
一人平均出資額 18,448円

組合員のみな様へ。氏名、住所変更をされた方は、組合員活動部までご連絡ください。

緑十字

はるな生活協同組合

高崎市高岡町498-1 高崎中央病院
電話 027 (323) 2665
(毎月10日発行) 1部10円
発行人 櫻井 康喜

ホームページアドレス

http://www.harunacoop.jp



ゆっくり楽しく

ゆるやか班の中心メンバーが、介護予防サポーターを取得し2011年6月にスタートしました。「地域のどこからでも、だれでも参加できるもの」を合言葉にスタートしたサロンです。現在は組合員ふれあい会館で定例開催しています。



ゆるやか体操

最初の頃は、10人ぐらいの参加者でしたが、現在では30人近くになり、会場が狭く感じるようになってきました。ふれあい会館の隣に病院があり、みなさん安心して参加しているように感じます。これかも「にっこり笑顔を大切に、楽しくゆるやかに、健康に温かく」をモットーに続けていきたいと思っています。

地域の仲間と健康づくりを継続

江木支部 ゆるやか班

4人に1人が75歳以上という超高齢者社会が、2025年には訪れます。社会構造の転換が大きく求められています。はるな生協が担う医療介護の分野では、医療福祉生協の地域包括ケアシステムをつくらうと呼びかけています。組合員活動の分野では、支部のたまり場づくりやサロンをつくって、集える場や機会を提供することを提起しています。今回は、生協で開設したサロンを紹介いたします。

医療福祉生協の地域包括ケアをめざして

月に一度はみんなで楽しく食事会

高岡支部 松さんの会



みんなで集まる

地域の中で、1人暮らしの方が集まって、



楽しいお食事

なで楽しく食事会ができればという思いで始めま

Table with 4 columns: 選挙区, 氏名, 選挙区, 氏名. Lists names of representatives for various districts.



認知を学ぶ

耳をかたむけ
「認知症を学ぼう」と、町田由紀江ほほえみの杜施設長を講師に学習。予定の15人を越えた参加者が、熱心に耳を傾けました。質問も予定時間をオーバーして続きました。気軽に介護や認知症の心配を相談できる場が、身近に必要なんだと実感しました。
今後は、学習を積みながら、「あいうべ体操」「はるな健康体操」「ロコモ体操」を実習していきます。

NPPOと協同で

サロンがスタート

はるな生協とNPPO法人あんなかひだまりマルシェの協同で、認知症サロンがスタートしました。会場は、安中市松井田町にあるマルシェの店舗です。高齢社会へむけて、今年1年サロンを運営していきます。
第1回目のサロンは、「認知症を学ぼう」と、町田由紀江ほほえみの杜施設長を講師に学習。予定の15人を越えた参加者が、熱心に耳を傾けました。質問も予定時間をオーバーして続きました。気軽に介護や認知症の心配を相談できる場が、身近に必要なんだと実感しました。今後は、学習を積みながら、「あいうべ体操」「はるな健康体操」「ロコモ体操」を実習していきます。

した。松さんの会では、季節を感じる食事や、時には歌を歌ったり、紙芝居を見たりと、いつも笑顔で楽しいひと時を過ごしています。
「どこからでも、だれでも気軽に参加できる」場として会を続けていきたいと思っています。

虹
一斉地方選挙が終わり、テレビで当選者がインタビューに答えています。どなたもこの日の発言を忘れずに行動して頂きたいと思っております。
4年経つと選挙があつて有権者の評価を受けるといふのは本当に大事な事だと思ひます。公約を裏切る事があれば、また住民の意思に大きく反する事を行えば次は落選するといふ緊張感政治を行つて、今年1年サロンを運営していきます。
年々投票率が下がつていく事が指摘されています。投票率を上げるいろいろな工夫も毎取り組まれているようですが、あまり効果はなさそうです。政治に関心を持たない人が増えてきているというのがよく聞かれる言葉です。確かにそうかも知れませんが、多くの人が選挙に行かないのは政治に期待できないから、裏切られる、世論調査で国民の過半数が反対していることを平気で進められる。それを大手の新聞もテレビも人ごとのように報じているだけ。これでは政治の関心が無くなるのも当然だと思ひます。しかし、このままでは危ない、無関心はますます今国の政治を進めている人たちが安心させ、喜ばせてしまひます。あらゆるレベルの選挙で、世論調査で、いろいろなイベントで政治的な意思表示を諦めず示し続ける事が求められています。 (紅)

### 医療福祉相談室から

## 生活保護を受ける権利は恩恵ではなく基本的人権です

～群馬で人間らしい生活のために勇気をもって裁判を起こした人たち



ソーシャルワーカー  
富岡真理子

2013年8月から生活保護の引き下げが行われています。国は生活保護のうち、食費や光熱水費等の日常生活に必要な費用にあたる「生活扶助」を670億円減らし、更に今年度は住宅扶助や冬季加算の引き下げ(188億円)が計画されています。

このような生活保護引下げは憲法に違反している状態だということ、全国各地(20県、原告数588人)で集団訴訟が始まっており、群馬でも昨年9月22日に10人の方が前橋地裁に提訴しています。3月11日に第2回口頭弁論があり、私も傍

聴に行っていました。傍聴席は満席状態で、その後裁判を支援する「生存権を守るぐんまの会」が結成されました。この裁判の意義は、単に原告の方たちの生活を良くすることを指すだけにどまりません。というのも、生活保護基準は、最低賃金、就学援助、年金、介護、保育・福祉サービス等の給付、税金、保険料、利用料等を決める上でのものさしとなっていて、国民生活に影響を与えているからです。生活保護利用者だけの問題だと思つて放つておくと、自分たちの生活を苦しくすることにつながっていくという仕組みになっています。

また、この裁判では生活保護基準が本当に人間らしい暮らしを保障する内容になっています。昨年全日本民医連で行った「生活保護受給者実態調査」では、3割の方が食事が1日2回以下、約半数の方が、入浴回数が週2回以下、衣服や履物の購入費用は年間5千円以下、冠婚葬祭は出費がでず参加しておらず肩身の狭い思いをしているという調査結果で、生活保護利用者の方の厳しい生活実態が浮き彫りとなりました。こんな状態が人間らしい暮らし

ではないか? 生活保護引下げに対する集団訴訟は、生活保護利用者だけでなく、私たちが暮らしている「ものさし」が問われている裁判なのです。生活保護は、恩恵ではなく基本的人権として憲法25条で保障された権利です。そして憲法では、「最低限度」の生活を常に引き上げ、向上させ、「十分」な生活を保障する義務が国にあることを謳っています。そして、国にその義務を果たさせるように力を尽くすのは国民の義務です(憲法12条、人権「保持」のため「不断の努力」が国民に求められています)。

裁判の傍聴に行くなど、この訴訟を一緒に支援していきましょう(次回6月3日、15:00、前橋地方裁判所で行われます)。

しい暮らしと言えるでしょうか? 生活保護引下げに対する集団訴訟は、生活保護利用者だけでなく、私たちが暮らしている「ものさし」が問われている裁判なのです。生活保護は、恩恵ではなく基本的人権として憲法25条で保障された権利です。そして憲法では、「最低限度」の生活を常に引き上げ、向上させ、「十分」な生活を保障する義務が国にあることを謳っています。そして、国にその義務を果たさせるように力を尽くすのは国民の義務です(憲法12条、人権「保持」のため「不断の努力」が国民に求められています)。

裁判の傍聴に行くなど、この訴訟を一緒に支援していきましょう(次回6月3日、15:00、前橋地方裁判所で行われます)。

(富岡真理子)



この裁判を支える弁護士のみなさんです。

## 組合員の疑問に答える!

「聞きたくて聞けないいろんなこと」

### ②病棟診療委員会をご存知ですか?

病棟診療委員会とは入院してきた患者さんの入院生活が滞りなく、少しでも快適に過ごせるように、入院業務に関わる職場の代表が集まって、それぞれの立場で提案し、一緒に考えていく委員会です。構成員は「内科医師」「外科医師」「2階病棟師長」「3階病棟師長」「放射線科」「検査室」「栄養科」「リハビリ」「薬局」「事務次長」「病棟事務」です。

会議は毎月、月の初めに行われ、当月の動きなどをまず確認します。その後各部署から提案があり、協議して細かいことを決めていきます。業務内容が非常に多岐に渡るため、業務連絡だけで会議の時間がほとんど終わってしまうこともあり、それぞれの職場がどんな風に入院患者さんに寄り添おうとしているか、発言の端々から情熱が溢れ出ている、会議はいつも活発です。ひとつのことを決めるのに、数ヶ月に渡り協議したこともあります。お互いに自分の職場も患者さんのために一生懸命いろいろ考えて工夫している様子がうかがえます。そんな姿勢がどれだけ患者さんやその家族に届くのか、よくわかりませんが、これからもみんなで頑張っていきます。

(医事課 糸井 実和)



## サ高住2号施設 建設委員会よりお知らせ

◆名称は「高齢者住宅 虹の家」に決まりました  
2号施設の名称募集を3月末で締め切り46もの応募がありました。応募していただいた皆さんありがとうございました。  
4月30日の理事会で「高齢者住宅 虹の家」と決めさせていただきました。

◆工事の進行状況  
工事は基礎配筋・基礎枠も終わり、基礎コンの工程に移っています。



4月14日 基礎配筋工程



4月28日 基礎コン

◆ヘルパーステーションレイナーが移る予定です  
今迄通りの在宅への訪問介護と併せて高齢者住宅への訪問介護も新たに取り組む予定です。

# 恒例春のドライブとお花見食事会

## デイサービスセンター ほほえみ

今年も多くの利用者が楽しみにしていた、恒例

の春のドライブと、デイサービスでのお花見食事会を、それぞれ

変更となつてしまいました。それでも職員も利用者も椅子を並べて、お重に盛り付けられた料理に舌鼓をうち、存分に春の雰囲気を楽しみました。

一方ドライブはというと、桜がみるみる散り始めてしまい、不安な気持ちもありました。しかし花より団子とは言いますが、ドライブの際はレストランでのおやつタイムも待つており、気落ちさ

りタンが食べた「とおっしゃる方も…。周囲の笑いを誘う一場面となりまし

た。それぞれアイスクリームやパフェ、甘いものが苦手な方はフライドポテトなど、思い思いのメニューを注文。待つている間

もやはりそれぞれわしたり、おしゃべりに興じたり、色々な表情ですごしています。

注文の品物が運ばれてくると、皆さん様に満面の笑顔を浮かべ、驚く



おいしいね

今年も早い開花、更に梅雨の予行練習のような長期間の雨、それに伴う寒さなど、少々悪い条件が重なつてしまい、お花見食事は室内での実施に

変更となつてしまいました。それでも職員も利用者も椅子を並べて、お重に盛り付けられた料理に舌鼓をうち、存分に春の雰囲気を楽しみました。

一方ドライブはというと、桜がみるみる散り始めてしまい、不安な気持ちもありました。しかし花より団子とは言いますが、ドライブの際はレストランでのおやつタイムも待つており、気落ちさ

りタンが食べた「とおっしゃる方も…。周囲の笑いを誘う一場面となりまし

た。それぞれアイスクリームやパフェ、甘いものが苦手な方はフライドポテトなど、思い思いのメニューを注文。待つている間

もやはりそれぞれわしたり、おしゃべりに興じたり、色々な表情ですごしています。

注文の品物が運ばれてくると、皆さん様に満面の笑顔を浮かべ、驚く

## 各地で支部総会を開催

4月～5月は総代選出・総会開催期間です。支部総会の様子を紹介します。

13人が参加し、おでかけも兼ねて今回は、倉瀬川浦温泉・はまゆう山荘(高崎市倉瀬町)に行きました。

1支部が支部総会を開催しました。13人が参加して松井田町の自然の中でバーベキューを楽しみながら、1年の振り返りと今後の希望を話しあいました。

4月28日(火)、第2支部が総会を行いました。15人が参加し、おでか

けも兼ねて今回は、榛名湖のゆうすげに行きました。



中居第2支部



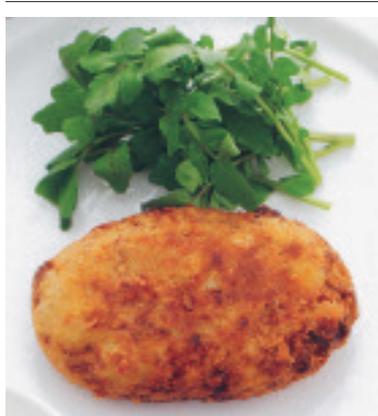
4月25日(土) 中居第1支部



4月22日(水) 第6支部が組合員交流会(総会)



第2支部



栄養課 だより

### ヘルシー満腹献立

風薫るさわやかな季節になりました。この春から新生活が始まった方も多いのではないのでしょうか。しかし、心も体も疲れ果ててしまふのが5月。そう俗に言

う「五月病」です。五月病を6月まで持ち越さないためにもしっかりとバランスの良い食事を心がけましょう。

わかっている忙しい、やる気がでないなどの理由で外食や市販の食品で食事をすませてしまつこともあるかと思ひます。ただ、外食や市販の食品、レトルトなどは高カロリー、塩分・脂質過多のものが多いためです。しかし、手作りならなんでもオーダーメイド。積

極的に摂りたい食品や控えたい食品のコントロールもできます。食材の表示を見る事で食の安全性も考えることが出来ます。楽しく美味しく作ってみませんか?

か? 今回のレシピはキャベツのメンチカツです。《キャベツのメンチカツ》

① ポールにひき肉、①の野菜、カレー粉(a)を入れてよく練り混ぜる。2等分にして長円形にまとめ、小麦粉で溶いた小麦粉(b)、粉水で溶いた小麦粉(c)、パン粉の順に衣をつける。③フライパンに油を1cm高さまで注いで170℃程度に熱し、中火で②を3〜4分かけて両面をこんがり揚げ焼きする。キャベツはたっぷりひき肉の約3倍入れることでメンチカツがジューシーに。また、パン粉を細かくすり潰すことで、少量でもまんべんなくつき、吸収率も下がります。衣も卵の代わりに小麦粉を水で溶いたものを使う事で、カロリーダウンに。

↑1人分の栄養価↓  
・ エネルギー……………279 kcal  
・ 塩分……………0.7 g  
(管理栄養士 飯嶋 由香)



お花見弁当を楽しむ



「中居第1支部が健康講座開催」  
4月21日中居第1支部が健康講座を開催しました。テーマは「美魔女になろう!」みなさん、興味深々で16人ほどの組合員が参加しました。  
管理栄養士の 中澤千智さんから「アンチエイジングではなく、ポジティブエイジングを」との説明にみなさん納得。  
お話の後の質問コーナーでは、質問時間が足りなくなるほどの盛り上がりでした。